

20年の歩み

創立20周年記念

2013年10月



東京お茶の水ロータリークラブ



バナーの由来

当クラブは、親クラブでもある東京神田RCと地域を同一にしております。

旧神田区と呼ばれるこの地域は、江戸の昔旗本屋敷を中心に、学者、武芸者、職人、商家と町奴の住む活気に溢れた庶民の町でありました。

中でも、日本三大祭りの一つである「神田祭」は、往時の歴史そのままに今も人々を魅了しています。

私達のクラブバナーは、神田神社に所蔵されている貴重な文化財『神田明神祭礼絵巻』に描かれている祭りのシンボル「神輿^{みこし}」をデザインしました。

神田明神祭礼絵巻

神田神社に所蔵されるこの絵巻は、卷子本三巻からなり、表装の端の題籤には、「神田明神祭礼絵巻」とし、一巻には天、二巻には地、三巻には人と記されている。

この絵巻は幕末の頃一橋家のもとに於いて、画家住吉内記広定によって描かれたもので、往時の祭礼風俗が、すぐれた描写力と、美しい色彩によって克明に記されている。

箱書きには、「内記広定、また弘貫と称す。住吉家中興の名手なり。幕府の席次、広定に至り、狩野家を凌駕するものあり。此明神祭礼絵巻、最も晩年に至りて、一ツ橋家の需めに応じ、筆を採ること二年有余、第三巻の末にいたり、彩色を残して、ついに病歿す。誠に惜みて余りあり」行年七十一。「慶應三丁卯之春。(朱方印)」と墨書されてあって、当時の風俗画としても、また神田明神祭礼の記録としても価値ある文化財である。



東京お茶の水ロータリークラブの系譜

※第2750地区クラブ



東京お茶の水ロータリークラブ

創立までの経過

- 1993 年 平成 5 年 3 月 18 日 東京神田ロータリークラブの会長会（歴代会長）で子クラブ設立の件と特別代表の候補を決める
- 4 月 1 日 東京神田ロータリークラブの例会兼総会に於いて子クラブ設立の件と拡大委員会設立の件、承認
- 5 月 6 日 拡大委員会メンバー発表
- 5 月 11 日 東京神田ロータリークラブ 阿部会長名で松島ガバナー宛提出
- ・ 拡大調査報告書
 - ・ 共有によるアディショナルクラブ結成の承認
 - ・ ロータリークラブ設立に関する合意書
- 5 月 20 日 特別代表、拡大補佐の松島ガバナーより委嘱状受ける
- 7 月 1 日 特別代表、拡大補佐の宮崎バナーより委嘱状受ける
- 7 月 8 日 新クラブの中核となる会員候補者 3 名、東京神田ロータリークラブの例会に見学のため出席例会後 3 名も交え
- 第 1 回設立準備会開催
- 7 月 13 日 第 2 回設立準備会開催
- 7 月 22 日 東京神田ロータリークラブ 岡橋会長名で宮崎ガバナー宛提出
- ・ 拡大調査報告書
 - ・ 共有によるアディショナルクラブ結成の承認
 - ・ ロータリークラブ設立に関する合意書
- 7 月 30 日 第 3 回設立準備会開催
- 8 月 25 日 第 1 回合同会議開催 創立会員候補出席する
- 8 月 31 日 あさひ銀行九段支店に口座開設
- 9 月 1 日 新事務所オープン
- 9 月 2 日 野上職員 東京神田ロータリークラブより出向と決定
- 9 月 8 日 第 2 回合同会議開催 創立会員候補出席する
- 9 月 21 日 第 3 回合同会議開催 創立会員候補出席する
- 9 月 28 日 仮クラブ例会開催 創立会員候補出席する
- 10 月 6 日 仮クラブ例会開催 創立会員候補出席する



東京お茶の水ロータリークラブ 創立20周年記念式典



2013年10月2日(水) 於 ホテル・グランドパレス

第一部 式典 16:00 ~ 16:45

開会点鐘
国歌斉唱「君が代」
ロータリーソング「奉仕の理想」
来賓紹介
物故会員への黙禱
会長挨拶
来賓祝辞

司 会 俣野 幸昭

会 長 佐々木啓策
幹 事 藤澤由起子

司 会 俣野 幸昭

会 長 佐々木啓策
ガバナー 吉田 建二
東京神田 RC 会長 石谷多嘉司
本宮市長 高松 義行
司 会 俣野 幸昭

祝電及びお祝いの言葉披露

記念事業発表及び目録贈呈

東日本大震災復興プロジェクト 本宮 RC 会長 渡辺 孝男
ロータリー希望の風奨学金支援委員会 担 当 中村 洋司
日系ブラジル人の恵まれない子供たちへの教育支援
教育文化連帯学会カエルプロジェクト代表 中川 郷子
タイ・ダムロン高校日本語科生徒への教育支援及びチエンライ アカ族の子供たちへの支援
奥山 聡より報告

感謝状贈呈

ロータリー財団寄付 松浦 久晴
ロータリー米山記念奨学会寄付 上島 武雄
〃 田邊 恵三
ニコニコ寄付 土居 岩生

功労者表彰

須永 陽子
大須賀かおり
閉会点鐘 会 長 佐々木啓策

— 記念撮影 —

第二部 祝宴 16:45 ~ 18:30

司 会 小林 大介

素囃子
開会の辞
乾杯
お食事並びにご歓談
素囃子ご紹介
ロータリーソング「手に手つないで」
閉会の辞

土居 岩生
松浦 久晴

泉 肇
松浦 吉晃
副会長 大原 正道



祝 辞

クラブ創立20周年を祝う



2013－2014年度
国際ロータリー第2580地区ガバナー
吉田 建二

20周年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。

東京神田ロータリークラブという名門クラブから立派な東京お茶の水ロータリークラブが20年前に生まれたことは大変素晴らしいことだと思います。今年度は佐々木会長のリーダー力と藤澤幹事との名コンビにより、例会運営がスムーズに行われていると感じております。

また、中央分区ガバナー補佐として土居さん、分区幹事として山田さんという素晴らしい力を輩出し

て頂き御礼申し上げます。中央分区は楽しく明るい例会を演出されていますが、その中でもお茶の水は一段と若々しく元気であり、非常に嬉しく思っております。

また、お茶の水ロータリークラブ20年の歴史の中で、高い目標を掲げ奉仕活動が続けていることは、伝統と英知が充分培っているためだと思います。先人の築いたものを大事にし、20年の経験を生かし、ますますご発展され30年に向かって素晴らしい成長をされることを祈念致します。



2013－2014年度
東京神田ロータリークラブ会長
石谷 多嘉司

本日は誠にありがとうございます。また創立記念例会にお招き頂きましてありがとうございます。

20年前お茶の水の創立時に私は未だ神田に入会しておりませんでしたので設立経緯などは存じておりませんが、この大変な20年に創立されたクラブは相当なエネルギーを使われたことと思います。世間ではこの20年を「失われた20年」とよんでいます。バブル崩壊後、経済は低迷、更にサブプライムローンに端を発したリーマンショック。その後世界金融危機へ発展し、世界的に経済の低迷が続きました。そして消費税の増税、不良債権問題、阪神淡路大震災、東日本大震災など大変な20年でした。そのような社会情勢の悪い、将来展望の見えない環境の中で誕生し発展してきたお茶の水ロータリークラブには力

強さを感じます。活発な国際貢献、社会貢献活動で立派な成果を示してこられたことを知るにつけ敬意を表する以外何也没有什么。

一方お茶の水ロータリークラブの例会に出席させていただいた折には、とても温かく迎えられ、親睦の絆の強さを感じておりました。

私は、会長に就任して以来、他クラブとの交流を活発にすることを方針の一つに掲げました。特にお茶の水ロータリークラブとは親密な関係を築いて将来は共に協力して事業展開ができるようになればと願っています。

今後も、ますますのご発展を心より祈念いたしましてご挨拶に代えさせていただきます。



福島県本宮市長
高松 義行 (本宮ロータリークラブ)

20周年創立記念が盛大に開催されますこと心よりお慶び申し上げます。

福島においては、東京電力、福島第1原子力発電所の事故という今まで経験をしたことがない被害を受けました。東京お茶の水ロータリークラブ様におかれましては、本宮に避難を余儀なくされた浪江町、富岡町の子供たちの為に暖かいお心を頂きありがとうございます。今、福島は復旧はほぼ完了していますが、放射能対策はさなかであります。市内の住宅1軒1軒の除染作業という手間のかかる仕事ですが、逃げるわけにはいきません。一つ一つハードルを越えることが福島の復興につながることを固く信じて頑張っています。

震災で失ったものは大変大きなものでしたが、お茶の水ロータリークラブ様とわが故郷本宮ロータ

リークラブの熱い友情を頂きました。これは我々にとって大きな勇気です。本宮は福島のほぼ中央に位置しております。復興のキーワード「福島のへその町、本宮」とへそ力を発揮して頑張っています。

東京お茶の水ロータリークラブ様の子供たちへの支援は大きな意味があります。明日の本宮、福島、日本を背負って立つのが今の子供たちです。また、その子供たちへ福島というバトンを繋ぐのが私たちの使命だと思います。お茶の水ロータリークラブ様の子供たちへの支援は大変有意義な事業であると心から感謝を申し上げる次第です。

東京お茶の水ロータリークラブ様がますますご繁栄され、30年40年半世紀と続けられることを祈念し、御礼と挨拶にかえさせていただきます。





挨拶



2013－2014年度
東京お茶の水ロータリークラブ会長
佐々木 啓策

20周年記念例会に当たりご挨拶を申し上げます。

私ども東京お茶の水ロータリークラブは、平成5年10月13日に東京神田ロータリークラブを親クラブとして結成されました。爾来、会員のご努力と皆様からのご支援により、ここに20周年という輝かしい節目を迎えることができ、このような祝賀会を開くことができますことは無上の喜びであります。

本日は吉田ガバナー、多田パストガバナー、高松本宮市々長そして東京神田ロータリークラブ、本宮ロータリークラブの皆様を始めとしたたくさんのご来賓の皆様に、お忙しい中、また足元の悪い中をご臨席賜り心より感謝申し上げる次第です。

この20年を振り返りますと、4人の財団留学生、11人の米山留学生そして7人の青少年交換学生のお世話をさせていただき、またカンボジアでの地雷除去活動への支援、現地の人々の生活用水確保のための井戸掘り援助、また近年では福島県本宮市に避難していらっしゃる浪江町、富岡町の人々への支援を本宮ロータリークラブの皆さんと協力して進めてまいりましたし、さらにはブラジル「カエルプロジェクト」への支援等多くの社会奉仕活動に積極的に努めてまいりました。

もちろん、ここにいたるまでに多くの皆さんからのご支援を頂いてきたことも忘れてはおりません。東京神田ロータリークラブはもちろん、多くのロータリークラブ、あるいは地区の委員会の皆様を始めとし、事務局のスタッフ、ピアノの大須賀さん、ホテルの従業員の方々などの裏方の皆さんにも、この場をお借りしまして心より感謝を申し上げます。

そのような意味からも、今回のこの祝賀会は華美に過ぎず、簡素の中に皆様へ感謝の気持ちをお伝えする会にしたいと考えた次第でございます。

本日より次の30周年に向かいまして、一同ロータリアンとしての奉仕の心を新たに、さらに前進をする所存でございます。どうか旧倍のご指導、ご支援の程をお願い致します。ご挨拶とさせていただきます。



東京お茶の水ロータリークラブ
初代会長
泉 肇

20 周年おめでとうございます。

この記念行事に参加して、東京お茶の水ロータリークラブは、やはり強いなと改めて感じ入りました。その後の IM もそうでした。佐々木会長の統率の下、幹部諸公が奮闘し、全員協力一致の体制で臨み成功に導いたのです。

計画段階から会長の考え方が提示され、一般の意見を徴しながらまとめて行った手腕には敬服しました。まさにいざとなれば一致協力、力を発揮する我がクラブの特徴が表れたものでした。

20 年前のチャーターナイトの折りの熱気高揚ぶりも想起しましたが、1999－2000 年度の IM、カンボジアプロジェクトの成功等を経て、震災後の素早い援助活動等、近年の対外活動の展開にも見られるように、時代の変化にも臨機に対応する力をつけてきていると、つくづく感じさせられます。

これからますます難しい対応が迫られる時代に直面していますが、当クラブの持つ潜在能力は自信をもっていいのではないのでしょうか。普段は個性豊かで、いざとなれば全員の力を結集する気風を大切に「明るく楽しい、しかし、品格のあるロータリー」（阿部元ガバナー）を目指したいものです。



記念事業発表及び目録贈呈



東日本大震災復興プロジェクト

本宮ロータリークラブ会長 **渡辺 孝男**

東京お茶の水 RC 様には、震災後いち早く被災児童に対し奨学金の支援をして頂きました。今回も多大なるご支援ありがとうございます。3年目の今年は、避難者の方に避難地の文化を知っていただき住民との絆を強め、将来の帰町へ向け希望の光を絶やさぬよう、心の支えになるような故郷の民族芸能への参加出演、鑑賞そして交流のできる本宮市民族芸能大会への支援と仮設住宅自治会活動の支援を行います。大会内容は第1部が被災地の民族芸能の披露、第2部は地域保存会の皆さんによる太神楽の披露です。また、お茶の水 RC 様からの記念品をお渡しする予定です。12/1(日)に開催いたしますので、皆様にも是非福島においていただきご鑑賞いただければと思います。

ロータリー希望の風奨学金

ロータリー希望の風奨学金支援委員会 担当 **中村 洋司**

この度は多額のご寄付を頂き、驚いております。ありがとうございます。現在122名の短大生・大学生に月5万円給付しております。この事業には総額11億円必要ですが、現在の資金は5億円で、6億円不足しております。本日のお茶の水 RC 様からのご支援が呼び水となり、大願成就するのではないかと考えております。委員会委員長、上野パストガバナーに成代り御礼申し上げます。

日系ブラジル人の恵まれない子供たちへの教育支援

教育文化連帯学会「カエルプロジェクト」代表 **中川 郷子**

日本の不景気によりブラジルに帰国した日系ブラジル人の子供たちはポルトガル語ができないため、いじめにあったり、不登校になる子供たちが多くいます。その子供たちの教育支援のプロジェクトです。子供たちの様子をご覧下さい。(※ DVD 鑑賞)

タイ・ダムロン高校日本語教育科生徒への教育支援及び チェンライ アカ族の子供達への支援

国際奉仕委員長 **奥山 聡**

タイ国チェンライ、ダムロン高校日本語科への教育支援を昨年度から次年度まで3年間行います。同じく、チェンライの山岳民族アカ族の子供たちへの識字率向上の支援も行ないます。



祝電及びお祝いの言葉



2013－2014 年度 国際ロータリー第3360 地区

北タイ・チェンライロータリークラブ会長 **原田 義之**

この度はお茶の水ロータリークラブが創立 20 周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。この場を借りて、「北タイ子供たちへの識字率向上支援と、日タイ友好事業」などの心温まる国際奉仕に対し、感謝申し上げます。

本間 義朗 (退会会員)

おめでとうございます。お久しぶりのお便りに懐かしく思っております。永劫に続くこと、陰ながら祈っております。

石川 康彦 (退会会員)

ご案内ありがとうございます。ご盛会をお祈りいたします。

小関 道賢 (退会会員)

心からお祝いを申し上げます。家内の介護のため残念。皆様へくれぐれもよろしく。

伊藤 芳雄 (退会会員)

当日を含め、老妻と区営の施設へ湯治に参ります。皆様への記念品を考えております。



東京お茶の水ロータリークラブ 創立20周年記念式典(写真)



東京お茶の水ロータリークラブ創立20周年記念式典・記念集合写真



記念式典の開め「手に手つないで」を出席者全員で



創立20周年記念誌